

人の一生は重き荷
を負ふて遠き道
を行くが如し
急ぐ可からず

が宜からう、と勇吉の後ヘワイ、と斯様に無作な最期を遂げた程でござ
村人尾て雛家の方へ參ります。才助さすから、定のし長左工門は悲鳴を
は夜の明方何やと母屋の方に當つて物げたでございませぬ、オ、いゝる夫
騒しや、人聲がするとの何事か知らんぞと一を一向にございませぬ、心得て居れば即
戸を叩いて出やうとする途端に、當家に来て爺を討つべき所であるが、酸
の作の勇吉と顔を見合せました。勇吉の才助無知し居つたものですから、才
だは發足になりませんでしたか、オ、つしり心付かず居りました、意志
の野過しまして……大分母屋の方が騒
かせねつさま

思ふ、何故かと云ふと胃の腑が

何んの爲めに來た、考へるまでもない
マントを褌斷したから見せ付けにやつ
て來たのだ、面も胡狼の鼻けは粉が
出るに定て居る先づ日陰町や柳原の道
に行つたら三國五十城もだしたら否處
なしの代物だ、歸る時の云ひ草が爛で
滑稽でしかも哀れた、曰く僕の名には
解があるから本給へ、是非来給へとい
ふとアコガシや俗人だ、吾が来給へ今さ
じと空腹の精神上に及ぼす權威に就
ての研究中だ、それにもある、彼は人
並に餅を買つた事を以て又と無い誇り
として居るのだ

研究は滅茶苦茶になつた、敢て餅の類
を食はが故にはとほ擧げられないが兎に
角空腹の威力によつて怒氣に對する舌
筋の威は遂に征服されて仕まつた、王
座に行かねばならぬ、實に残念な、王
様より起出掛けで見ると、靴化門から
電氣通までで直線だ、面も五六間角位
の間隔をとつて恰度鐵木靴でも打つ込

て居る時だと居たし明とすると、
一對する觀察が違つて來る様だ、コ
輪が然ぶ車夫の足の運びが流石な形
の足の運びを見るやうで時底に面白
いと思ふ、青息吐思と云ふ奴には見え
ないで流車、小魚流の煙のやうに見え
て勢勝がい、何時もあんな車で右往
左往する人達には車夫の吐く思は全く
筒の煤煙のやうに見えてるに違ひな
淺

大次在故園傳樂詞兒見寄
壬子元旦之詩 加藤 海濱
東風四五年。賀正詩成策幣慚。
華水韓山奏一祥。歐陽明治太平干
連緒昭代又加年。高戶巻繞立燈籠
更及皇恩赴歲。福運或無成朝天
駐口此地上去。驅逐野鶴
之符靈句故放
元日や千代田の松に歌ふ稿
其二
濃緑々下迎春年。快括阿華更吐煙
新運到來君記取。風流流亞太平洋
年立つや白髮もそさは智恵也
松上 上鶴
好夢華軒九草堂。朝老隨意松樹深
松上 上鶴
河村 竹溪

昨年十
と云
許は

一月十五日瀨南線の開通と共に従来江
景峠山を經由して諸方に移出せられし
論山は開通期日より鐵路を利用せし
なりしより忽ち論山に輸送せらるゝ事と
て論山驛の各四方に響き渡り其間數驛
に達す速度を示し明治四十年漸く四十
人に充たざりし日本人は昨年正月百七
十餘人を算したるもの今や數九十七
在住者二百九十人に倍加し一村一部落
を形成するに足る名稱の營業は居住内
地人によりて殆んど完全に内業經營
者十六人あり殆んど總て小作制を採り
中井某の五十餘町歩津村某の三十餘町
歩は表面に現はれる大なるものなり
而して日下人の營業を組織すれば遠
瀨店三旅館四理店二藥材商其他陶

怨恨うらみ

第七十三回

甲「小旦那は何うした」乙「小旦那は居ますす、大分作右衛門の處へ行つて泊つて居るのだ。これから早く往還しよう」と二人の番頭が駄足で駆出し息を吐き、「飛んで参つて、作左衛門を叩き起し勇吉に對面して此凶報を告げよう」と、追々に親子の情狀報告が散れど聞いて、血相變へて物も云はず庭口から飛び出し我家を指して吠んで歸る。作右衛門娘の夫の親父が非常の最期を遂げたと聞き及ぶ日頃は不仲でも出ない位な人でありすが、この場合要緊に譯にも參らんので娘ど

酒誼一



足元の儘に母をへき込んで、突然血を流して居る父の死體を抱上げて、勇ましく五平そんな馬鹿な事を云ふもので、御災難、何づれ御検視を御願ひなさい、黙れッ五「へつ」感動とは何事するでござらうな作「左様でございます」です、私も感嘆し人の涙で目を覺したことも、組合の者が先づ届けに参りまして、地方代官松村國太主と云ふ折柄、死位ですが何か變があるのです、五「野太」と云ふ折柄、

五世

か盜賊の仕業か、其邊は存せぬが飛んだ御災難、何づれ御檢視を御願ひなするでござらうな作左様でございますとも、組合の者が先頭届けに参りまして云ふ折柄、地方代官松村國太主

會席料理
忘年宴合
時年宴合
上素之竹葉觀陽中
乃持小冠就於言同信
陳引立の程奉帝正外
至極大和町之下向

梅の家

電話七三九五番

眼科專門

大韓醫院眼科部長 金井 啓一

京城市區小町目(三榮司令部通り)
電話一八四四

萬年社

電話 月賦貸金
押付賃金
電話一八四四

●頭山分拆用機械類
●齒科用器械材料
●縫製用材料
●化學用器械材料
●教育用器械材料
●藥局用器械材料
●消毒用器械材料
●工業用器械材料
●有名實業製品

官公私立各病院御用達
京城本町二丁目(電話三七二番)

山岸天佑堂藥房
調劑の御依頼に應ず

梅毒淋病
兒科
小兒科專任
院長
陸軍軍醫
正高井貞治
電話二一六番

內外科
京城毒町三丁目
高井醫
院

銀行一習
星粹精々御手利
申候

朱氏
城黃金町
銅峴

○本店 長崎市
○出張所 長崎の各主要地並に縣領捕鯊、清國安東縣、大連に支店、
株式會社 長崎銀行先有之候、東京總代理店として貯蓄預金取扱申候
○貯蓄預金
○元金百圓に付日歩一厘二厘預り申候
○口金百圓に付日歩一厘二厘預り申候

耳鼻咽喉頭病頭專門
氣管氣管枝病
診療時間 午前自八時至十二時
午後自二時至六時
日曜休息 午後二時迄
京橋本町二丁目 石田耳鼻喉氣管病醫院
前京都醫科大學耳鼻喉科教授 醫師
前民團立蒲城病院耳鼻喉科部長
石田誠

農業品目
 苗木、農具、肥料
 各種 穀種
 朝鮮力農株式會社
 京城旭町二丁目
 電話三六八番

電話 掛什賃金
月賦留渡

● 硝山分拆用藥品
● 樹膠用器材料
● 腐蝕用器材料
● 化學用器材料
● 軟作用器材料
● 藥用器材料
● 消毒用器材料
● 工業用器材料
有名實業知品

○ 硝山分拆用藥品
○ 樹膠用器材料
○ 腐蝕用器材料
○ 化學用器材料
○ 軟作用器材料
○ 藥用器材料
○ 消毒用器材料
○ 工業用器材料
有名實業知品

電話 一八四七

萬年社

京城本町六丁目(支店司令部通り)

金井眼科醫院

大韓醫院眼科部長 金・井・豊・士

官公私立各病院御用達

京城市本町二丁目(電話三七二番)

山岸天佑堂藥房

調劑の御依頼に應ず

寺内總督たるもの得
て、入ることのみを
して、

たる如し、尤も昨座つたり腰掛にて居ては消化不良に陥るべく然りとて運動

場ばの設しやけなききき運うん車しやの事ことなれば勾かど配はいのせ
 均ひと整ととを利用りようして不足ふそくせる運うん動どうを補おぎなふに
 んが爲ためめ親おや切きりからとあれば平へい平へいを申まをす
 上うへる筋しん節せつにあらず却さかつて到いたりて盡はす
 の注しゆ意いの程ほどを感かん謝しゃすべきなり、然しかり乍しばら
 ら右みぎの人ひとも言いはれた如ごとく過あやぎたるは猶なほ然しかり
 及およびさるが如ごときとかや、僕わがをして言いは
 しむれば憂うれひて思おもふに能あたはぬ格かたなり

トの裾すそを煽あほる、後姿うしろざたの眼めに寒さむし

マツ樹の風影に寒し漢子の窓
窓前の山々樹々緑の茂せるを見る
其秀れたる山々の土の色血の如し、驛の
附近に大なる煉瓦製造所ありと聞きて
其煉瓦の色美しかるべきを想像す、驛
を距る幾十ならずして我國の歴史に深
き縁故を有する

大同江に連ずる

江水全く氷し、降る雪の水に白くして
水空の影も雪の影す遠かに北岸に

なんて理屈を捏ねつゝ窓外に眼を放つ
鐵橋上より北に迺かに平壤あたり高丘

名は此處に下車す、乗客稀に
 して驛内又餐館として冬の色を現す、
 婦人の隣に犬に餌を投げつゝあるが
 眼立つ、洋婦人一名乗り

1

[illegible]

南光倉園の正風は在る夏城家百郎を訪ふた院主菊村聚氏曰く

人間と云つて相手の患者は即ち面會する何しと相手方ですけれども、はしてゐるが未だ一般の入院を許すでに設備が整つて無いので往診するが當院に連れて來て貰つて治療するは診察料ですか大抵五十錢内三十五錢注射料が二十五錢乃至二十錢です從來重に及扱つたのは大で病氣稠繁は普通薄瘧と云ふ處で敗血症丁度昨年の十二月十三日に高田家の

しくは産後に起る子宮出血、ステイバー即ち犬温熱等です。此の犬温熱

氣喘に類する夥だしい之れは大陸の氣候が、氣候の變化が烈しいのが原因であらうしが實證の材料は不明で世の中未だコレに云ふ治療法が見出だされて無此の症狀は第一呼吸器系統を病むからです此の時には盛んにチバール病に由る黄痰及白色でとも云ふべき色でる惡臭を放ちます(つゝ)

京城本町四丁目

遂に破産して以來諸道具一般債權

●**榮次千里の關係**

△轉らしたり差入れたり
元京、畿道、藤原氏、村千里の官、金匱頭、
の如くなるが今般南山町天眞樓仲居
たり山口縣生れ佐々木ヒサが名も
食店業として同號にて飲食店營業
の處、日々に許可せられしを以て
兩月より開業すべしと何分をも仰
ふと願されどもぬ從行打斷すること、如

[illegible]

り「四國騒動猶犬の争討」なり
歌舞支座 改裁後劇十一日の幕閉

親と親七條にして、麝鹿同様に大入の
 鹿として、二等八十錢、三等六十錢、三等
 十錢、四等三十錢に大割引する由なり
 正花筈、三遊、圓若、行にて好人
 御成座、猿合十一日の藝題は「海
 寄」なり

三美 三美合資會社石炭部
 朝鮮代理店
泉商會
 京城中長谷川町二丁目

石炭

女助を見ろ、目下豫審中だから公表

以前好きな酒を飲み過ぎては藝人狂になぞ行つて首も知らぬ借金に危ふく地に賣はざれんとしたを松葉の主人に斯けられて以來大に改心して眞面な體に居るとは身出度し▲同家の分は萬箇中券から此方へ来る早々刑に罹り昨年十月迄は物にならずも頭痛悩の体になりしが金快復らずは二等を爭ふフントウ振りを

「よく見たりで腹が痛い」と夫れも好からう。同家の記者

清國總領事館前
 (本町一丁目馬場通京城郵便局)
 に新築の工竣格致院に付二月
 廿日より同所診療に従事す
 飯塚齒科醫院
 主東京大學齒科專攻
 醫員齒科醫學畢業
 芳賀一衛

林・仁の吉屋は理由ありて酒と男を購つた云が酒の方は兎に奔男の方は當には成らぬといふ王家の伊達子は目下旦那を探し居るが條件として「男が好きで金持ちで盛くして強くて」云々が儘に言ふ事をキいて呉れる人(航雀)。

平 民 文 庫

●来る十三日土曜日、黃昏より新春句會。相繼し趣意趣味に遊べる人々をこの御光榮を祈る、胡蝶でも焼いてもチリヤビリが出来れば幸甚と存候。(西大門口道邊宮倉保馬方野崎小僧) ▲近頃面白く催し鳥天狗の嘴を尖らしして何ひ致度有様心作 ▲京城山椒は燈籠に讀者の御仲心を挑發すべく試みて居る、眞には採取歌の寸法を觀賞する今度は驛の奉降人員に觀賞する餘程博ぶ花月の光景が好きなんだ、此度は一したら廢うの暇の下丁の毛の数でも貰わねば初手から一筆は吉野君に取られ石にはバク見たいなナ(小僧) ▲龍山樓の商賣旁自然主義の實行あり其相手を是に知らぬや道中小僧 ▲去る七日の午後七時鐘龍山掛山遊藝で本京浦の還客一人ひと自ずろ三十番位和服姿の男なりと多數の茶葉童子大立廻りを初め三十分位格闘の末還客と稱する男は髪切りにされ低頭平生尻上つて精家を戒められて居るのを見受けたが何か仔細のある事らしい(實見生) ▲ワンデ草若き遊子は大層可愛やつて居る、髮結女に醉の發起で京城券の蘇技達が浪花館の總力をする相対他人の憎夫の顔を見に手花で見物をする組さん連の人氣の好んだ思つて見れば氣の所が可憐さうだ分思の下がすゆ伸びよ。(箱屋の一人) ▲ト思ふのは大間違で實は彼の静けは組さん連にア、云ふ男をケシ掛けを結ぶて押した(小僧) ▲錦旗道の始節をテラ附せて神シムより更けて行く多の夜、寂寛を味ふ所に戀の嬌さには有ものだ(八人の子)

廣 告

生徒募集

當學舍今般英漢數國語各新學級生徒募集
規則書入用者は至急申込ます可し
京城旭町 京城學舍

無代進早治根救 ●催眠術 ●
京芝芝芝町電話一六五精神研究會

●生徒募集●
一月十日より新第三十期集
第一期を設け新第三十期集
第二期第三期定期缺集
電一七八九 京城夜學校

朝鮮總督府下環鑛業所製出
 無煙煉炭
 煉炭の一手販賣に係る無煙煉炭は品質
 優良にして左の諸長を有す
 一、燃焼の時間長く點火後刻々時節
 を保つ
 一、又燃焼の灰分稀少なる爲め客室
 一時に高熱する虞なく常々適當
 の溫度を保つ
 一、普通煙の煙臭と異り本炭は煙火容
 易なり
 以上諸條に販賣仕候間細々御使用あら
 ば本廠上候御用命請下度候
 三井物産株式會社
 京城出張所
 南大門外古市町二六番
 小賣店 茗米地商店
 電話 九四一番

比無界世
 淳良

 清酒
 大販賣 佐藤牧商店
 電話 二九番 田村京城二九番

元祖 菓子パンアンパン各種
 總督府各官衙御用
 陸軍御用
 製造御 小賣商
 京太町二丁目 (電話二八九番)
 相川兄弟商會
 電話 一七六番
 相川兄弟商會支店

野田上香油
 野田上香油
 味噌醬油釀造元
 諸漬物問屋
 大上友太郎商店
 電話 二六五番
 京太町五丁目
 電話 二六五番
 大上友太郎商店

新荷着
 各製產地
 新荷着
 肥モト
 店員高阪德三
 解備廣告
 右の者一月一限解備後續今榮房
 二丁目日韓書房

大日本麥酒株式會社
 醬油
 宇治銘茶
 和洋雜貨
 乾物荒物
 炭
 野菜果實
 日用品一切
 諸漬物問屋
 大上友太郎商店

大日本麥酒株式會社
 醬油
 宇治銘茶
 和洋雜貨
 乾物荒物
 炭
 野菜果實
 日用品一切
 諸漬物問屋
 大上友太郎商店

大日本麥酒株式會社
 醬油
 宇治銘茶
 和洋雜貨
 乾物荒物
 炭
 野菜果實
 日用品一切
 諸漬物問屋
 大上友太郎商店

朱百擦磨

所朱百城龍
寺金本城寧
道一ノ一話電

蜂印香露

貧血を憂ひ 虚弱を悲み
ながらに未だ

飲まざる人ありや?

芳醇佳味 精良の滋養

血を増し 肉を肥し
諸君の身心を圓
満愉快に健全な
らしめる無二の
薬用葡萄酒なり

賣捌元日東京市近藤利兵衛

軍海隆

諸官 衛劍 勉強 調製

東京市芝公園愛宕下町二丁目五日町通

林軍刀店

本場精撰

右銘茶各種の物種々入荷に付
卸り買ひも大に仕仕候間多少
仁川中芳春園

田中芳春園

三味噌

製造元 遠藤廣吉商店

資本金五百萬圓

為替取組先

東京市芝公園愛宕下町二丁目五日町通

林軍刀店

岩阪澄子

赤毛は何れも
本毛の模倣品は
本毛の模倣品は
本毛の模倣品は

酒清等優

元賣販造釀
港川仁
店酒金吉

(番七六話電)

療診科齒

野田 齒科醫院
野田 齒科醫院分院

アイボリー

米國製
石鹼に優れあり
包紙に御注意を乞ふ

齒科診療

東京市芝公園愛宕下町二丁目五日町通

林軍刀店

西崎商店

石炭直輸入商

電話千三百六十番

健腦丸

記憶力悪き人頭痛する人
常服は精神を養ふに
必用薬は健腦丸のみ也

荒井第二牧場

牛乳搾取
畜産物賣買
種牛種付及貸牛
其他畜産業一切

健腦丸

代理店 東京市芝公園愛宕下町二丁目五日町通

林軍刀店

完全無誤の大目録あり

完全無誤の大目録あり

高上醬油

元造釀
町石萬港川仁
場造釀油醬杉高

番五六七話電

酒精アルコール

直輸入元

鐵冷温泉

旅館並に浴客席貸

廣安喜次郎

治齒療科

本町六丁目(電話七五八三)

中村安子

M.C.C.

古耳土
東京市芝公園愛宕下町二丁目五日町通

林軍刀店

恩給

代理店 東京市芝公園愛宕下町二丁目五日町通

林軍刀店

恩給

代理店 東京市芝公園愛宕下町二丁目五日町通

林軍刀店

健腦丸

代理店 東京市芝公園愛宕下町二丁目五日町通

林軍刀店

田舎

代理店 東京市芝公園愛宕下町二丁目五日町通

林軍刀店